

ヤングケアラー問題をどう捉え、 どのように向き合っていくか

「ヤングケアラー」
ってなに？

周囲の人はどんな風
に声をかければいい
の？

子どもたちに関わる関
係者にできることつて
なに？



* 手話通訳・要約筆記あり

令和3（2021）年 11月28日（日）

午後2時～3時40分（受付開始 午後1時30分）

会場

柏崎市産業文化会館 文化ホール（柏崎市駅前 2-2-45）

定員

200名（先着順）

申込方法

11月19日（金）までに、電話またはファクス、Eメール、
専用申し込みフォームで子育て支援課にお申し込みください。

（詳しくは裏面をご覧ください）



もちだ きょうこ
講師 持田 恭子さん

（一般社団法人ケアラーアクションネットワーク協会代表理事）

母の在宅介護とダウン症のある兄のケアを仕事と両立させてきた自身の経験をもとに、家族が無償で世話するケアラー同士がつながり、気持ちを分かち合う仕組みが必要であると強く感じ、2013年に「ケアラーアクションネットワーク」を立ち上げた。その後も2020年のケアラーTubeの開設など多岐に渡る社会福祉・貢献活動に携わっている。

平成30年度 厚生労働省 子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究の報告書」に構成委員として携わるなど、ヤングケアラーの問題点やその支援策等に関し、豊富な知識を持つ第一人者である。

【お申し込み・お問い合わせ先】

柏崎市子育て支援課（柏崎市元気館内）

〒945-0061 柏崎市栄町 18 番 26 号 電話：0257-47-7786 FAX：0257-20-4201

Eメール：kosodate@city.kashiwazaki.lg.jp

● 新型コロナウイルスの感染状況により、開催を中止することがあります。その際は事前にご連絡いたします。

講師プロフィール 持田恭子さん（一般社団法人ケアラーアクションネットワーク協会【CAN】 代表理事）

1996年に「ダウン症児者の兄弟姉妹ネットワーク」を開設。

2003年、父を看取り、母の在宅介護とダウン症のある兄のケアを仕事と両立。家族を無償で世話するケアラー同士が繋がり気持ちを分かち合い、情報を共有し合う仕組みが必要であると強く感じ、2013年に「ケアラーアクションネットワーク

（CAN）」を立ち上げた。2016～2017年にかけて小学生のきょうだい児を対象にしたART&CHAT CLUBを開催。

2017年、電子書籍「自分のために生きる」を出版。2018年、2019年、NHK Eテレ「バリバラ」にゲスト出演。

2018年に母を看取り、2019年11月にCANを一般社団法人化した。2021年、TBS News23でインタビュー出演。

社会福祉法人あゆみの会評議会評議員など社会福祉・貢献活動に積極的に取り組み、幅広く活動されている。

「ヤングケアラー問題をどう捉え、どのように向き合っていくか」参加申し込み方法

申込締切：11月19日

電話による申し込み 電話番号：0257-47-7786（直通）

受付時間：月曜日から金曜日の午前8時30分～午後5時15分（祝日を除く）

Eメールによる申し込み メールアドレス：kosodate@city.kashiwazaki.lg.jp

氏名・住所・電話番号・「児童虐待防止講演会参加希望」と記入の上送信してください。

ファクスによる申し込み ファクス番号：0257-20-4201

下記の参加申込書に記入の上送信してください。

申し込みフォームによる申し込み

右の二次元コードを読み取りお申し込みください。

※定員を超えた場合は、後日ご連絡します。



柏崎市子育て支援課 行

児童虐待防止講演会「ヤングケアラー問題をどう捉え、どのように向き合っていくか」参加申込書

参加者氏名	住所	電話番号

☆ご記入いただきました個人情報は、講演会の運営及び新型コロナウイルス感染症発症時以外には使用致しません。

新型コロナウイルス感染予防について

- ・マスクを着用してご来場ください。・風邪の症状（熱・咳など）がある場合は参加をお控えください。
- ・参加者から感染者が発生した場合は、保健所等へ情報提供されることをご承知おきください。